

闘春 2023

組合員、OB諸先輩のみなさん、ご家族のみなさん、あけましておめでとうござい
ます。

昨年来、世界的な戦争体制の転換の契機となったウクライナ戦争は、年を越し、長
期化しています。停戦の兆しすら見えません。JR総連は、「ウクライナ避難民支援
カンパ」を通じて人道支援を続けていますが、いまだ戦禍により命を失い、生活を奪
われている方々が増え続けています。私たちは、一刻も早い停戦とロシア軍の撤退の
ために「できること」を考えていきますが、日本政府に対して、「制裁」に相乗り
するのではなく、積極的に両国に向けて「戦闘停止」を発信すべきだと声を上げてい
かなければなりません。

岸田政権の暴走が止まりません。「5年間で総額43兆円の防衛費の確保」、「防衛3
文書改定」などの戦争体制の強化、廃止が決まった原発の建て替えや60年を超える原
発の運転を可能とする「政府方針の転換」、増税、後期高齢者の医療費窓口負担2割
の新設、年金の減額、介護保険利用者負担の増額検討など、私たちの生活の安全と安
心が急速に失われています。

組合員の生活は、年末手当の低額回答や、円安、原料価格高騰による物価上昇によ
り非常に厳しくなっています。連合は「5%程度」という賃上げ要求の水準を決定し
ましたが、今年も「産別自決」の様相が強まっています。昨年の春闘では、芳野会長
が山場で自民党麻生副総裁との会食が報じられ、さらに多くの反対意見がある中で安
倍元総理の国葬にも参加しました。連合は、組合員の声を受け止め、労働者のための
たたかひの先頭に立つべきです。JR総連は22春闘の教訓を活かし、さらに連帯・共
闘を強め「2023 JR総連春闘」をたたかひ、要求の満額獲得と連合運動強化をめ
ざしてたたかひます。

経営側は、さらなる生産性向上をめざし、会社組織再編、働き方改革を進めていま
す。加えて本人希望を無視した異動、不当労働行為も散見されます。「安全、健康、
ゆとり」の実現のために、不平等、不利益などの、あらゆる不当な行為や組織破壊行
為とは徹底してたたかひ姿勢を貫いていきましょう。

組合員、OB諸先輩の皆さん! 「平和・人権・民主主義」を守るために、国会議論
も国民議論も蔑ろにする岸田政権に反対し、「JR総連推薦議員懇談会」の皆さんと
ともに政権交代に向け、たたかひはありませんか。そして統一地方選挙に勝利
し、地域の皆さんと連帯し、地方ローカル線の存続の議論も深めていきましょう。さ
らに全国各地の「9条連」の仲間と「憲法9条改悪反対」のたたかひを強化してい
きましょう。

非常に厳しい情勢下ですが、今年もJR総連の旗のもとに結集し、団結を固め、組
織強化・拡大に向けてたたかひましょう!



全日本鉄道労働組合総連合会

執行委員長

山口

浩治

JR 総連 加盟単組委員長 年頭所感

**JR 総連春闘を連帯・共闘の強化でたたかい抜き
春の統一地方選挙に結合させよう！**

北海道旅客鉄道労働組合



中央執行委員長 中川 憲一
新年明けましておめでとございます。

JR 総連に結集する組合員、ご家族の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年 JR 北海道に対する国の具体的支援について、2024 年度以降の支援確定に向けた重要な局面を迎えます。また、「中期経営計画 2023」の最終年度、次期中期経営計画の策定に差し掛かる年です。私たちは、「経営自立までに必要な支援とともに『安全・健康・ゆとり』『利便性の維持・向上』をかちとり、JR 北海道グループに集う組合員・家族の幸せを実現しよう！」を合い言葉に、組合員一丸となって取り組んでまいります。

長期化する泥沼の戦争と影響は悪化の一途です。当事国も支援国もやめようとしません。民の犠牲はいとわず、時には宣伝されるのみです。すべては権力者らの都合にほかなりません。岸田総理は、日本の先制攻撃を可能とする大転換、憲法改悪の総仕上げを目指しています。原発政策もしかり、日本は歴史の転換点にあります。私たちに待ちかまえるのは、この為の大増税と社会保障の切り下げ、生活苦です。国内外の労働組合・労働者や即時停戦を求め、一切の戦争政策と原発帰還に反対し、いのちとくらしを守らねばなりません。いまこそ労働運動の真価が問われます。2023 JR 総連春闘を連帯・共闘の強化でたたかい抜き、春の統一地方選挙に結合させましょう。

飛躍と向上の卯年。向こう 1 年、皆さまと奮闘してまいります。

**安全・安定輸送、雇用と生活を守るため、
実践を通じて現実を切り拓いていく！**

東日本旅客鉄道労働組合



中央執行委員長 佐藤 英樹
新年明けましておめでとございます。

昨年、JR 東海組結成 35 周年、たたかいて培った友情と連帯の輪をより強固なものにすることを確認しました。

私たちはこれまで、依然として続く物価上昇などに対して、組合員の生活実感と労働実感を基礎に、春闘や期末手当など要求実現に向けて果敢にたたかってきました。結果的に要求の前進はかち取れなかつたものの、経営姿勢に対する怒りや悔しさを職場で実践することを通じて、組合員はもとより、組合未加入者の皆さんにも「私たちが職場でたたかう姿勢」に多くの賛同を頂くことができました。組織拡大は、18 春闘から 200 名を超えましたが「JR 東海組に結集し、共にたたかう仲間を拡大しない限り要求は実現しない」と決意を新たに、2023 年も組織一丸となってたたかいます。

日々の奮闘や努力に報いない経営姿勢は、これからも続くことが予想されます。2022 年度年末手当の低額回答における「史上最高の働き度で史上最低の回答」という怒りの声を基礎に、23 春闘を組合員一人ひとりが「自らのたたかい」と位置付け、たたかう決意です。地方ローカル線問題を含めて、JR 東日本グループ全体で大配置転換と大構造改革がめざされようとしています。JR 東海組として安全・安定輸送、雇用と生活を守るために、実践を通じて現実を切り拓いていく決意です。本年も厳しいたたかいが待ち受けていますが、組織拡大を最大の課題と位置づけ奮闘する決意です。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

**安全に安心して働き暮らせる
社会と職場をつくるため奮闘する！**

JR 東海労働組合



中央執行委員長 木下 和樹
JR 総連各単組の組合員の皆さん明けましておめでとございます。清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨一年間は JR 東海

労の運動にご協力頂き誠にありがとうございました。ウクライナ、朝鮮半島、台湾海峡など国際情勢は非常にきな臭くなっています。それを悪用し岸田自民党政権は反撃能力＝先制攻撃能力の保有、そして憲法改悪に躍りとなっています。ウクライナとロシアの戦争をみれば明らかのように、武力衝突で犠牲となるのは労働者をはじめとする社会的弱者です。弱者同士が殺し合いをさせられているのです。私たちは「あらゆる戦争、テロに反対！」と声をあげ続けなければなりません。

ウクライナ情勢や円安の影響で生活必需品の値上げが止まりません。生活費はもとより住宅ローンや教育費の負担も含め、私たちの生活は苦しくなる一方です。来る 2023 春闘では JR 総連各単組が団結し、生活の維持向上のため大幅賃上げ獲得を目指したたかおうではありませんか。

JR 東海は、業務改革施策と 10～15 年後の鉄道像を公表しました。そこには全クリニアについて触れられていません。また、鉄道部門の要員を 2,500 人程度削減することから、仕事がなくなる、職場がなくなるといった声が上がっています。施策の実施で安全や雇用が脅かされてはなりません。そのような事態にならないよう問題提起をしていきます。

取り巻く情勢は厳しさを増すと思われませんが、JR 東海も平和・人権・民主主義、そしてより安全に安心して働き暮らせる社会と職場をつくるため、微力ながら奮闘していく決意です。相変わらずのご指導ご鞭撻をお願いし、新年のご挨拶といたします。

**組合員と共に職場から実践し
諸課題の改善と組織強化・拡大を目指す！**

JR西日本労働組合

中央執行委員長 前川 誠



JR総連の仲間のみなさん、新年あけましておめでとうございます。日頃からの御指導・御支援に心から感謝申し上げます。昨年は会社の理

不尽な制度を組合員と共に粘り強く取り組みを積み重ね、一定の改善をかちとることができました。そのひとつは運転士のヒューマンエラーで「賃金カット」された事象に対して、賃金を回復させるとともに制度を改善させることができました。もうひとつは運転適性検査で「運転職以外の他職が適性」となった場合でも、一定期間後に再検査を受検し、適性と認められれば運転職に復帰できる道を切り開くことができました。このふたつの大きな成果は全組合員が諦めずに取り組みを積み上げた結果であり、職場からの取り組みがいかに大切なのかを組織全体で再確認することができました。会社はコロナ禍における収益の悪化をコスト削減と生産性の向上で乗り切るようとしています。現実には「働く者へのしわ寄せ」に他なりません。JR西労は「働く者の目線」で組合員と共に職場から実践し、諸課題の改善と組織強化・拡大をめざします。

ロシアのウクライナ侵攻・侵略から10カ月が経過し、今もなお戦争状態が続いています。多くの人命が奪われ続けていることに深い悲しみと戦争を引き起す権力者への怒りが沸き上がってきます。岸田政権は国防意識を煽り「戦争ができる国」から「戦争をする国」にむかおうとしています。私たちはJR総連に結集する仲間の皆さんと力を合わせ、憲法9条を守り、平和を希求する取り組みを強化していきます。本年もよろしくお願ひ致します。

**職場からの運動づくりにこだわり
全組合員一丸となって取り組む！**

日本貨物鉄道労働組合

中央執行委員長 高木 康之



JR総連に結集する仲間の皆さん。新年おめでとうございます。昨年も新型コロナウイルスにより組合活動が大幅に制限された一年となり

ました。政府は経済の立て直しを図るため行動制限を行いませんが、命と健康にかかわる問題であり、感染予防対策を徹底し、運動の前進と組織強化・確立をめざしていかなくてはなりません。現在岸田政権は「新しい資本主義」を掲げ、また経済界も「資本主義は行き詰まりを見せ、現在『大転換期』に立っている」との認識を示しています。あわせて防衛力の強化や憲法改悪もめざされ、今年も私たちにとって厳しい年とならざるを得ません。一方で岸田内閣の支持率は下がり続けていますが、対する野党も精彩を欠いているのが現実で、残念ながら政権交代を望むべくもありません。しかし、今年4月に予定されている統一地方選挙では、推薦候補者の当選にむけて、今から準備を怠らないようにしなくてはなりません。

また、私たちJR貨物労組にとって重要な課題である、北海道新幹線札幌駅開業に伴う並行在来線の存続や貨物調整金などの問題については、JR貨物グループに働くすべての労働者の雇用と生活に関わる大きな問題です。引き続きJR総連には、JR総連推薦議員懇談会所属議員などへの要請行動に対するご協力をお願いしたいと思います。今年も昨年も増して厳しい年となるかと思ひます。だからこそ、JR総連の旗の下に、職場からの運動づくりにこだわり、組織強化を見据えて全組合員一丸となって取り組むこととします。今年1年よろしくお願ひ致します。

**組合員一人ひとりの声を聴き
安心して働くことのできる職場作りを進めていく！**

鉄道総合技術研究所労働組合

執行委員長 中村 竜



JR総連のみなさま、明けましておめでとうございます。昨年も鉄研労の活動に多くの御指導・御鞭撻を頂き、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、鉄道は大きな影響を受けてきましたが、JR各社の運輸収入も回復傾向が続くなど、ようやく明るい兆しも見えてきました。鉄研労の今年度の運動方針では、「安心して豊かな暮らし」と「働き甲斐のある職場」を目指すことを掲げております。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ベアゼロやポナスが低調な状況が続いており、賃金は職員の「安心して豊かな暮らし」に直結する重要な要素であるだけでなく、職員のモチベーションにも影響します。鉄研労では、毎年組合員意識調査や組合員との意見交換会を実施しております。2023年はこれらの機会を通じていただいた「組合員の声」をもとに、特に生活の基盤である賃金の改善や、モチベーション向上施策の実現に力を入れてまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期的に続いていることよって、生活に影響の出ている、あるいは将来に不安を持つ組合員も少なくありません。このような時こそ、労働組合が組合員一人ひとりの声を聴き、安心して働くことのできる職場作りを進めていくことが重要です。今年も、微力ではありますが、鉄道の安全、発展そしてJR総連の活動に貢献できるよう努力していきたいと思ひますので、皆さまのご支援をよろしくお願ひいたします。

JR総連の旗のもとに集う仲間と連帯し たたかいを推し進めていく！

鉄道情報システム労働組合

執行委員長 三枝 祐野



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスとの闘いが続きすでに3年近くが経過しましたが、まだまだ気を抜けない状況であることに変わりありません。

システム労では「対面でのコミュニケーション」が制限される中で、今できる最大限のことは何かを常に考え実行してきました。リモートと対面それぞれの良いところを組み合わせ、場所や形にとらわれない新しいスタイルの組合活動を積極的に取り入れ、より活発な組合員同士の交流を実現していきます。

また、在宅勤務やリモート会議が当たり前となり、職場での上司と部下とのコミュニケーション不足により閉塞感や不透明感が生まれてしまっているのではないかと感じています。働きがいとは何か、どのような将来ありたい姿をめざすのか等、労使間でもしつかり対話し、希望を持って前を向けるよう、議論を深めていきます。

そして何より、物価上昇は日々の生活に大きな影響を及ぼしており、組合員と家族の生活を守るたための重要性を身に染みて感じています。組合員の声を要求に高め、安全・健康・ゆとりを実現するため、ベア獲得にこだわり2023 JR総連春闘を最後までたたかい抜きます。

私たちは働き方の変化に柔軟に対応しながらも、労働力に対する価値を決して下げることなく、適切な対価と労働条件の維持・向上を求め続けていかなければいけません。将来に渡り安心して働き続けられるよう、JR総連の旗のもとに集う仲間の皆さんとしっかり連帯して、たたかいを推し進めていきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

組合員の雇用や 健康を守るため奮闘する！

ホテル聚楽労働組合

執行委員長 斎藤 敏彰



新年、明けましておめでとうございます。昨年1年を振り返ってみると、1

月初旬は、コロナ感染状況の改善傾向を鑑み、一時的に宿泊客が増えてきました。しかし、1月下旬から感染者数が増え、宿泊者数が減り始め閑散とした日々が続きました。22春闘では、労働組合としての信念を軸に堂々と交渉に臨み、JR総連の仲間からの数えきれない激励は、大きな励みとなり、一定の成果を勝ち取りました。

4月から県独自のキャンペーンが再開され、客足は戻りはじめ、業績が回復する兆しが見え始めました。10月からは、政府による全国旅行支援が始まり、連日満室に近い日々が続く多忙を極めました。結果、11月締めとなる下半期の売り上げ目標を達成することが出来ました。しかし、年末一時金交渉では、目標が達成しても業績が改善するまでにはいかならないと、会社の回答はかなり低額での支給と提示してきました。下半期は目標を達成し、組合員・社員の期待は高まっている。今後の仕事へのモチベーションのため、更には若い社員の離職を食い止め、希望の持てる将来のため、粘り強く交渉を重ね、コロナ禍前の水準まで引き上げることができました。

また、繁忙期や閑散期のメリハリを付けた、勤務体制の構築が必要であると考えており、総合的な勤務体制作りに向けて労使協力しながら進めていきたいと思います。間違った運用にならないように努めていきたいと思います。

そして、安定した生活を守るためにも、業績の回復に向け、今年1年も組合員の雇用や健康を守るため奮闘していきます。

新しい生活様式が浸透してきた今、職場環境を再点検して働き甲斐ある職場を目指し、奮闘して行きます。

日本労働組合総連合会(連合) — 新年挨拶 —

日本労働組合総連合会

会長 芳野 友子



謹んで新春の寿ぎを申し上げますとともに、日頃からの連合運動へのご理解とご支援に心より御礼申し上げます。コロナ禍の下で4度目の新年を迎えました。引き続き、感染防止に努めながら、この間の経験と知見を踏まえた新しい運動様式に引き続き挑戦して参りましょう。

昨年来、「コロナ禍、物価高、円安」の「三重苦」が私たちの日々の生活を苦しめています。私たち連合が、すべての働く方々はもちろんのこと、困難な状況にある方々の「必ずそばにいる存在」となるよう、誰一人取り残されることのない包摂に満ちた一年を実現できるように年頭にあたり皆で決意を新たにしましょう。

また、多様性を重んじる労働運動だからこそ、あらゆる分野に先んじてジェンダー平等が実現されていかなければなりません。そのためには、私たち自らが、身近なことから少しずつ変えていくよう取り組みなければなりません。私たち連合がけん引役となつて、誰にとつてもより良い社会となるよう努力して参りましょう。卯年にあやかり、連合運動がより一層、跳躍することがありますよう皆さまのご支援をお願いします。本年が皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。

春闘の灯を守り、統一要求・統一闘争でJR総連春闘を勝利しよう!

総務省が11月18日に発表した「10月の消費者物価指数」は、前年同月比3.7%（総合指数）の上昇となっています。今後も物価指数はさらに上昇していくと言われており、この高い水準は、第2次オイルショックの影響を受けた1982年2月以来、40年8か月ぶりの上昇率となっています。こうした物価高騰の背景には、ウクライナ情勢が大きく影響していると言われてはいますが、安倍政権時に大胆な金融緩和による円安を急激に進めた結果が今日の日本の現実を招いていることを忘れてはなりません。

「円安で日本経済復活」を語ったアベノミクス3本の矢。しかし、全労働者人口に占める非正規労働者数はいまや全体の40%を超え、低所得に苦しむ多くの労働者が生活困窮者になっているのが現実です。岸田政権は、アベノミクスの失敗を隠すかのように、物価高騰に配慮する姿勢をアピールし、燃料油価格激変緩和補助金（燃料元売りへの原資支給）や低所得の子育て世帯への給付金という対策を打ち出しましたが、国民の目先を変えた一時的な対策に過ぎず根本問題は解決していません。

下記図に示すように10月時点の主な品目の物価は軒並み大幅に上昇し、組合員と家族の生活を圧迫し続けています。この先も円安に助長される形で食品、電気、ガソリンなどの値上がりは続くことが想定されます。「消費税大幅減税や凍結」などと言った国民生活を直接的に物価高から守る方策は政府にはありません。

安倍政権の提灯を持った自民党中心の政権や日銀では、緩和策（＝円安誘導策）を抜本的に修正すれば、アベノミクスの失敗を認めることになり、仮に緩和策の修正をおこなったとしても、金利が上昇し円高となれば、低金利に頼る政府財政や、円安を求める輸出企業の業績が逆に圧迫され、さらなる負のスパイラルとなります。まさに政治の迷走です。

主な品目の物価上昇率（2022年10月時点の対前年同月比）



物価上昇と組合員の生活実感に基づく賃上げをめざす！

私たちは政治に無関心でも無関係ではられません。この現実を変えていくためには、大きな塊が必要です。その意味で連合の役割は大変重要です。今こそ反自民・非共産の考えのもと、政権交代を可能とする状況をつくる必要があります。

眼前には2023春闘が迫っています。岸田首相自らが物価高に負けない賃上げを春闘で実現するよう企業に対して要請していますが、政労使会議や官製春闘では私たちの生活は改善しません。「構造的な賃上げ」などという政策は、労働者のための賃上げではありません。経済構造上、経営者・経団連に利する政策に他ならず、まやかしです。その真実を見極め、2023春闘では、物価高騰分と生活維持向上分を求めた賃上げ要求を労働組合が堂々と掲げて統一的にたたかうことが必要です。賃上げとはあくまで労働組合が要求したたかいとるものです。JR総連はその原点に立ち、「統一要求・統一闘争」でJR総連春闘をたたかい抜きます。

2023 JR総連春闘を、すべての組合員と共に、職場からたたかい抜こうではありませんか！

本年もよろしくお願いたします



1・6面写真：システム労 横山 聡



迎春

鉄道ファミリーは組合と共に歩み 皆様をしっかりとサポートします

- ▶がん保険・医療保険・介護保険
- ▶自動車保険・サークル保険・ゴルフ保険
- ▶JR積立年金・健康食品・組合旗・組合バッヂ等

今年もよろしくお願いたします



JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 目黒むすび
電話 JR 058-4114・5 NTT 03-3490-3862